



長久手と柴幸男について

柴 幸 男

はじめまして。お久しぶりです。そして、ただいまです。
劇作家、演出家、ままごとと主宰の柴幸男です。演劇をつくっています。2020年1月、長久手で演劇公演をします。現在は東京に住み、全国で活動していますが、僕の演劇活動のルーツは長久手にあります。

2007年、新卒で入社した会社を辞めて、演劇を再び志して、自分の名前、はじめて上演したのが長久手で開催されていた短編劇コンテスト「劇王」でした。『反復かつ連続』という一人芝居です。がむしゃらにつくったその作品はグランプリをいただき、そして、僕は劇王になりました（そういうルールなのです）。海のモノとも山のモノとも知れない僕を呼んでくれたことを今でも感謝しています。

翌年、再び長久手の劇王に参加した僕は『あゆみ』という短編作品を上演しました。後に長編化し、全国で再演を繰り返すことになる作品です。この年に僕は劇王の座を逃し「司会者の合戦くん」になります（そういうルールなのです）。それから数年、僕は合戦くんをするためだけに長久手に足を運ぶことになります。年に一度、鎧を身にまとい全国各地の短編演劇を舞台袖から見るのはかなり変で、実は貴重な経験でした。

そして僕は、2009年に東京で『わが星』という作品を上演します。『わが星』はその年の岸田戯曲賞を受賞することになります。その審査の報告を受ける前日も僕は長久手の舞台の上で合戦くんをやっていました。正直、他人の芝居を司会している心地ではありませんでしたが、自分の活動のルーツとも言える場所でその時を待つ

いたのは今になって思えば運命的な状況でした。

その後「劇王」という劇王10周年のイベントで再び僕は長久手で公演。このときは二人芝居でした。今までの自分の作風と少し違う挑戦的な会話劇。今まで劇王で見てきたものを詰め込んだような作品だったと思います。その作品で見事に「劇王」になることができました（そういうルールなのです）。

それから、もう7年。久しぶりに長久手で作品を上演します。はじめての、ままごとの、長編作品の公演です。しかも、はじめて長久手に来た時から憧れていた森のホールでの公演です。僕の劇を上演するには贅沢すぎる空間ですが、今の身の丈に合わせて使わせてもらおうと思います。

『ツアー』は、全国で再演を繰り返してきた、45分の中編です。『タワー』は、その形式を引き継いで作られる、新作です。長久手での公演が初演になります。この作品も長久手から全国へと旅していきたいと思っています。

長久手での公演は実家に帰るような心地です。何が変わり、何が変わらないか。新しい人たちに僕の劇はどう見えるのか。今から楽しみです。あらためてよろしくお願いします。🍷

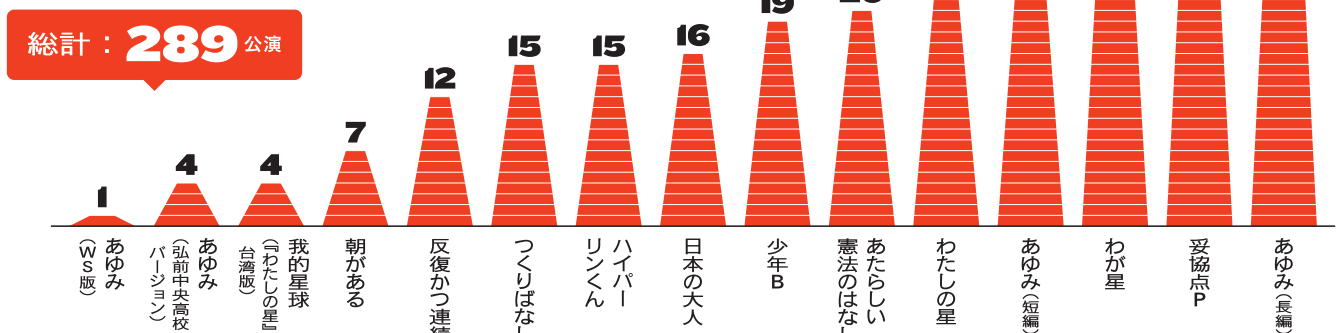
「ツアー」のツアー

昨年4月に横浜で初演された短編『ツアー』は、静岡、新潟、小豆島、沖縄と巡演し、ままごとのアトリエがある蒲田のHUNCHでも上演されました。



“みんなもやってる”「タワー」

ままごとでは2014年より、一部の戯曲を公開。その影響で、全国各地のさまざまな団体が柴作品を実際に上演しています。このタワーは、2018年4月1日から2019年3月21日までの間で、柴作品がどれだけ上演されたかを示しています。



ままごと

www.mamagoto.org
@mama_goto
mamagoto_theater

ままごとは、劇作家・演出家の柴幸男によって2009年に旗揚げされた、柴幸男の作品を上演する団体です。“演劇を「ままごと」のように身近に。より近くに——”をコンセプトに、誰もが歌を歌うように、絵を描くように、演劇で遊ぶようになったら、という想いから、さまざまな空間や形態で創作活動を行っています。現在は1年に1、2作品のペースで新作を上演するほか、再演を重ねて国内外さまざまな地域の方に作品を観ていただくことで、作品そのものの強度を高めることを目指しています。

柴幸男は1982年生まれ、愛知県出身の劇作家・演出家です。日本大学芸術学部在学中に『ドミノ』で第2回仙台劇のまち戯曲賞を受賞、2010年に『わが星』で第54回岸田國士戯曲賞を受賞。近年は横浜、大阪、小豆島、台湾など国内外各地で作品を上演しています。また多摩美術大学では講師として後進の育成にも力を注いでいます。

子供を失った母親。
心と頭を過去に置き去りにしたまま、あてもなく車を走らせる彼女は、
やがて人生という“ツアー（旅）”に巻き込まれていき……。
2018年に初演、その後、6都市ツアーも行った
ままごとの三人芝居「ツアー」を新たなキャストで上演します。
さらに“積み重ね”をキーワードにした新作「タワー」も同時上演。
柴幸男が“いま”を捉えた2作品を、ここ長久手で展開します。

□ ツアーあらすじ

女の息子は死んだ。それから2ヶ月後。女は車を
発達させる。久しぶりの車の運転。カーステレオ
のスイッチを入れる。音楽が流れ出す。ナビが目的
地の入力促す。目的地はない。街を抜けて、車
は高速道路を走る。空は次第に明るくなる。女は
サービスエリアでコーヒを買う。すると女はイヌ
に話しかけられる。これは旅、さよならを探す旅。

□ スタッフ

舞台監督 | 石橋侑紀 (シラカン) **照明** | 森友樹 (急な坂スタジオ) **音響** | 小早川保隆
衣装 | 瀧澤日以 (PHABLIC×KAZUI) **宣伝美術** | 関田浩平
制作 | 宮永琢生 (ままごと)・加藤仲葉 (ままごと) **特別協力** | 急な坂スタジオ
協力 | シラカン、PHABLIC×KAZUI **企画制作** | ままごと (一般社団法人 mamagoto)
主催 | 長久手市 **助成** | 文化庁文化芸術振興費補助金 (劇場・音楽堂等機能強化推進事業) |
独立行政法人日本芸術文化振興会



□ 問い合わせ

長久手市文化の家

TEL | 0561-61-3411 **WEB** | https://www.city.nagakute.lg.jp/bunka/ct_bunka_ie.html
スタッフ日誌 | <http://bunkanoie.blog.fc2.com/>



長久手市文化の家



@bunkanoie

□ タイムテーブル

1月25日 [土] 17:00 開演『ツアー』 | 19:00 開演『タワー』 + アフターイベント

1月26日 [日] 13:00 開演『ツアー』 | 15:00 開演『タワー』 + アフターイベント

※受付開始は開演の50分前、開場は開演の20分前

※アフターイベントではままごとによる「ミニ活動報告会」を行います。

□ 料金 [整理番号付・全席自由]

《公演券》(前売・当日)

フレンズ会員・一般 2,000円

学生 1,000円

※未就学児入場不可

《ツアー&タワーセット券》(前売のみ)

フレンズ会員・一般 3,000円

学生 1,500円

《ままごと&劇王セット券》(前売のみ、限定50セット)

『ツアー』+『タワー』、劇王 (Aプログラム、Bプログラム、決勝) の
全てが観られます。

フレンズ会員 4,000円

一般 5,000円

学生 2,500円

※前売券の場合、当日券の販売はありません。

※セット券は文化の家のみ取扱い。

□ チケット取扱窓口

長久手市文化の家

TEL: 0561-61-2888 (チケット専用)

Nピア (アビタ長久手店1階)

TEL: 0561-63-9200 (窓口販売のみ)

チケットぴあ ※フレンズ販売はありません。

TEL: 0570-02-9999 (Pコード498-390)

この公演は、

文化の家HPからネット予約ができます。



□ タワーあらすじ

男は金がなかった。男は安心できる住処が欲しか
った。タワーマンションに住みたかった。だが、金
がなかった。だから男はタワーマンションを建ては
じめた。それは次第に高くなり、観光名所となっ
た。雲よりも高くなったその上で、男はもう一人の
男に出会った。それは、かつて死んだ、彼の息子
だった。これは夢、新しく生まれる夢。

□ 会場

長久手市文化の家 森のホール

〒480-1166 愛知県長久手市野田農201番地



《交通アクセス》

①地下鉄東山線藤が丘駅下車、「リニモ」はなみずき駅下車、徒歩7分
②地下鉄東山線藤が丘駅から車で5分 ③地下鉄東山線藤が丘駅
下車、名鉄バス愛知医科大学病院行きの一部(4番乗り場)または、
菱野団地行きの一部(5番乗り場)、長久手文化の家北下車、徒歩4分
④名鉄バスセンターから名鉄バス、トヨタ博物館前行き、長久手文
化の家北下車、徒歩4分 ⑤東名高速道路名古屋インターから車で
10分、名古屋瀬戸道路長久手インターから車で10分

□ ままごと公演関連企画

柴幸男 学生向け演劇ワークショップ

多くの作品が高校演劇部で上演されることでも知られる、
ままごと主宰・柴幸男による学生向けワークショップ開催！

日時 | 2020年1月21日 [火] 18:00-21:00

会場 | 風のホール (舞台上)

対象 | 高校生から22歳まで (演劇経験不問)

定員 | 20名

料金 | 500円 (税込)

申込方法 | 長久手市文化の家 受付、

もしくは電話 (0561-61-3411) にてお申し込みください。

出演者紹介



大石将弘

Masahiro Oishi

▶ ツアー ▶ タワー

1982年生まれ、奈良県出身。2010年
にままごとに加入。2014年よりナイロン
100℃の劇団員、スイッチ総研の副所
長でもある。外部出演も多く、サンプル、
FUKAIPRODUCE羽衣、マームとジ
ブシー、KUNIO、木ノ下歌舞伎、範由
遊泳、口口などに出演。2016年より多
摩美術大学の非常勤講師。



小山薫子

Kaoruko Oyama

▶ ツアー ▶ タワー

1995年生まれ、東京都出身。多摩美
術大学で柴幸男ゼミを履修し、2018年
にままごとに加入する。「ツアー」は、劇
団員として初めて参加した作品。ままご
との小豆島での活動に関わっているほ
か、ままごと×康本雅子「芝生男女」な
どに出演。身体に関心があり、個人創作
にも取り組んでいる。



秋草瑠衣子

Ruiko Akikusa

▶ ツアー

宝塚歌劇団男役を経て、多摩美術大学
で学び、現在は俳優、脚本家、演出家、
ダンサーとして活動。近年はNODA・
MAP「エッグ」「足跡姫〜時代錯誤冬
幽霊〜」や、東京キャラバンなどに出演。
柴幸男作品には今回が初参加。



石倉来輝

Riki Ishikura

▶ タワー

1997年生まれ、東京都出身。2018年
にままごとに加入。主な出演作に古舘寛
治演出SPAC「高き彼物」やチェルフィ
ッシュ「『三月の5日間』リクリエーショ
ン」、快快「ルイ・ルイ」、ゆうめい「姿」、
ままごと×康本雅子「芝生男女」など。

ままごとの新聞 23号 [特別号]

2019年12月発行

発行 一般社団法人 mamagoto

編集 熊井玲 デザイン 関田浩平

ままごと
mamagoto

| 作・演出 |

柴 幸男 (ままごと)

| 出演 |

大石将弘
小山薫子
(以上ままごと)
秋草瑠衣子

TOUR + TOWER

— 会場 —
長久手市文化の家 森のホール

2020年

1月25日[土] + 26日[日]

ままごと

— 出演 —
大石将弘
小山薫子
石倉来輝
(以上ままごと)